

山梨県教育委員会教育長 殿

高校生等奨学給付金受給申請書

※必須項目

次の4点を確認の上、□にレ印を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、山梨県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は山梨県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

高校生等奨学給付金の受給を申請します。

【申請者について】

申請者住所 (保護者等住所)	〒 山梨県	ふりがな	印
		申請者氏名 (保護者等氏名)	
高校生等との関係 (いずれかに○)	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人 ・その他()		
電話番号	() —		

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と読み替えるものとする。

【対象となる高校生等について】

対象となる高校生等が複数いる場合は、それぞれの申請が必要です。

ふりがな				生年月日	昭和 平成	年	月	日
高校生等氏名								
現 在 在 学 校 等	学校の名称	国立・公立						
		学校の種類・課程・学科：						
	学校の所在地	都道府県		市区町村				
	在学期間	平成・令和 年 月 日入学。 7月1日現在、第 学年(年次)に在学。						在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □
※該当者のみ記入	学校名 立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日		学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □			
	過去の高等学校等 における在学期間	学校名 立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日		学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		

高等学校等就学支援金の申請に応じて、提出書類が免除されます。該当する項目をチェックしてください。

- (a) 道府県民税所得割額と市町村民税所得割額が非課税であることを証明するため、高等学校等就学支援金においてマイナポータル連携で取得した課税情報を高校生等奨学給付金受給資格審査業務で確認することに同意します。
- (b) 個人番号カードを所持していないので、高等学校等就学支援金において提出した課税証明書により道府県民税所得割額と市町村民税所得割額が非課税であることを証明します。
- (c) 高等学校等就学支援金においてマイナンバーの直接入力により申請しています。(課税証明書等の提出が必要)

【保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入の状況について】該当する□にレ印を付けてください。

- (1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。

<input type="checkbox"/>	「生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書」 ※福祉事務所の印が押されているもの
--------------------------	--

- (2) 次の者の個人番号カードの写し等(個人番号カード、通知カード、個人番号が記載された住民票の写し、住民票記載事項証明書等)又は課税証明書等を提出します。免除する場合は①にチェックしてください。

①	<input type="checkbox"/>	表面にて提出を免除
②	<input type="checkbox"/>	親権者(両親) 2名分
③	<input type="checkbox"/>	親権者 1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情(DV等)によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カードの写し等を提出できない場合 等 ・(専攻科のみ) 満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの□にレ印を付けてください。
④	<input type="checkbox"/>	未成年後見人 () 名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等) 2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑥	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) 1名分 ※生計維持関係を確認するため、生徒の保険証のコピーも提出してください ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑦	<input type="checkbox"/>	生徒本人 ※生徒の保険証のコピーも提出してください 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と読み替えるものとする。

- ※ (2)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ点を付けてください。

<input type="checkbox"/>	私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。 <div style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 2px;">※必須項目</div>
--------------------------	--

- ※ 個人番号カードの写し等を提出する保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

(ふりがな) 氏 名	生徒との 続 柄	(ふりがな) 氏 名	生徒との 続 柄

- ※ 上記保護者等(専攻科の場合は生計維持者)のその年の1月1日現在の市区町村までの住所を記入してください。

都 道 府 県	市 区 町 村	都 道 府 県	市 区 町 村
---------	---------	---------	---------

【扶養親族の状況について】(非課税世帯のみ記入してください。)

- ・7月1日現在、当該世帯において奨学給付金を申請している高校生等以外に、**15歳(中学生を除く)以上23歳未満**で、申請者に扶養されている兄弟姉妹がいる場合、以下に記入してください。
 (中学生以下の扶養親族は記入不要です)

扶養親族の状況	続柄	氏 名	生年月日	職業または学校名学年等	給付金 申請の有無	課程	備考
						□有 □無	□通信制 □専攻科 □上記以外
					□有 □無	□通信制 □専攻科 □上記以外	
					□有 □無	□通信制 □専攻科 □上記以外	
					□有 □無	□通信制 □専攻科 □上記以外	
	(例)兄	山梨 一郎	平成〇年〇月〇日	私立〇〇高校 3年	☑有 □無	□通信制 □専攻科 ☑上記以外	